

五稜郭公園の桜と遺愛の桜

春の寒さのために、1週間以上遅れた桜（そめいよしの）が函館でもようやく満開です。五稜郭公園の近くに住んでいるので、晴れた5月9・10日は朝5時前からカメラを持って、お堀沿いを散策しました。私だけではありません。携帯でとりまくる観光客とおぼしき若い女性の2人連れ、本格的にスタンドを立てて、朝焼けと桜がおりなす光のグラジュエーションにシャッターチャンスを狙うプロのカメラマン、日課のウォーキングに心地よい汗をかきながらも思わず桜に眼を奪われる方々などなどたくさんいらっしゃいました。本物の桜もきれいですが、お堀の水面に映る桜も素晴らしいです。五稜郭タワーの全身が桜と一緒に水面に映るスポットもあります。たぶん1年の中で今が最高だと思います。

五稜郭公園の桜も素晴らしいですが、遺愛の前庭の桜も見事です。遺愛の桜は最初102年前に植えられたのですが、戦時中に伐採されてしまいました。多くは戦後植えなおされたのですが、本館のすぐ傍ら、むかって右手にある古木は遺愛の本館建築時から咲き続けていて、遺愛では最も早く開花する枝ぶり見事な桜です。ゴールデンウィークをはさむと例年なら散ってしまいますが、今年は桜も生徒の皆さんの登校を楽しみに待っていました。

中学生は毎年、桜の下で昼食をとりながらお花見をします。高3生は卒業アルバム用のクラス写真をとります。もちろん青春の思い出のために、お互いにシャッターをきりあう遺愛生の姿も多数見られます。



遺愛本館横の桜



五稜郭タワーと桜

5月10日（月）